

# 平成26年度乙訓圏域障がい者自立支援協議会 「医療的ケア」委員会活動報告(案)

## 1, 設置の目的、役割

「医療的ケア」委員会は「『医療的ケア』が日常的に必要な障がいのある人が安心して地域で生活していけるよう、居宅等での生活支援にあたり、関係機関が連携して圏域内における支援体制を構築・確保する」ことを目的、役割としています。

## 2, 昨年度までの経過

乙訓圏域障がい者自立支援協議会の常設委員会として平成23年度から設置され、今日に至っています。この間、乙訓圏域における「介護職員等による喀痰吸引等研修(第3号研修)」の実施や、「入院時コミュニケーション支援」の制度化、「医療的ケア」が必要な人の短期入所の課題等に取り組みました。

## 3, 今年度の取り組み状況

### (1) 定例会の開催状況

第一回委員会 4月24日(木) 乙訓保健所講堂にて

- (議題) 1) 入院時コミュニケーション支援事業について(報告)  
2) 喀痰吸引等研修プロジェクトについて  
3) 「医療的ケア」が必要な人の短期入所について

第二回委員会 6月26日(木) 乙訓保健所講堂にて

- (議題) 1) 本年度の委員会人事について(委員の増員等)  
2) 入院時コミュニケーション支援事業の利用状況(報告)  
3) 喀痰吸引等研修プロジェクトについて  
4) 「医療的ケア」が必要な人の短期入所について

第三回委員会 8月21日(木) 乙訓保健所講堂にて

- (議題) 1) 花ノ木医療福祉センター地域支援課課長補佐 服部清子さんの話  
～短期入所の実情や手続き的なことを中心として～  
2) 入院時コミュニケーション支援事業の利用状況(報告)  
3) 重症心身障がい児者のショートステイの受け入れ体制・制度について(報告)  
4) 「圏域内の短期入所の事業所に集まってもらう」ということについて

第四回委員会 10月23日(木) 乙訓保健所講堂にて

- (議題) 1) 入院時コミュニケーション支援事業の利用状況(報告)

2) 短期入所事業所意見交換会の内容を受けて

第五回委員会 12月11日(木) 乙訓福祉施設事務組合大会議室にて  
(議題) 1) 事例報告

乙訓ひまわり園地域生活支援センター 奥村美佳さん

～「医療的ケア」が必要なメンバーさんのショート受け入れについて～

2) 「医療的ケア」が必要な人の短期入所に係る中間報告書(骨子)  
について

第六回委員会 2月26日(木) 乙訓保健所第二会議室にて  
(議題) 1) 事例報告

乙の国福祉会 晨光苑 三木明子さん

～「医療的ケア」が必要な利用者のショートステイ受け入れについて～

2) 「医療的ケア」が必要な人の短期入所に係る中間報告(案)につ  
いて

第七回委員会 3月26日(木) 乙訓保健所講堂にて

(議題) 1) 「医療的ケア」が必要な人の短期入所に係る中間報告書の取り扱  
いについて(報告)

2) 平成26年度活動報告書(案)について

## (2) その他

短期入所事業所の意見交換会 10月16日(木) 乙訓保健所図書室にて

1) 参加事業所・・・乙訓ひまわり園、あらぐさ、晨光苑、てくてく

2) 主な協議内容・・・全体的な利用者数、稼働状況、「医療的ケア」が必要  
な人の(短期入所時の)支援の現状、医療職との連携の現  
状、支援体制の確保や運営(経営)面での課題等

## 4. 今年度の協議内容

### (1) 「医療的ケア」が必要な人の短期入所について

本年度は昨年度からの継続課題として「医療的ケア」が必要な人の短期入所  
を取り組みの柱とすること、昨年度に実施した「乙訓の障害者福祉を進める連  
絡会」による家族への聞き取り調査の結果を通してニーズを確認した「圏域内  
の福祉型の短期入所事業所の利用」を進めていくために必要な課題をひとつひ  
とつ整理していくことを確認し、協議を進めました。協議の経緯や内容につい  
ては平成27年3月26日付けで「中間報告」として取りまとめ、乙訓障がい  
者自立支援協議会会長へ提出しました。(詳しくは中間報告書〈資料1〉を参  
照下さい。)

### (2) 喀痰吸引等研修プロジェクトについて

当該研修の実施にあたり、喀痰吸引等研修プロジェクトと登録研修機関である乙訓福祉会・ライフサポート事業所との関係の在り方について、平成26年度は従来通り実施しながら、その中で来年度以降の実施の在り方などを検討していくこととしました。基本的に登録研修機関としての役割を整理し担ってもらおうということで、その一つの形として同プロジェクトの各委員に登録研修機関より研修実施委員会の委員として委嘱の手続きを行っていただきました。

また、基本研修の実施にあたっては、登録研修機関が京都市内で増えてきたため、研修受講の機会が増える一方で各回の受講生が減少傾向にあること等を勘案し、本年度は10月18日（土）～19日（日）の一回のみの実施としました。受講者数は23名となっています。（詳しくは「平成26年度喀痰吸引等研修プロジェクト活動報告」を参照下さい）

### (3) 研修会への委員の派遣について

今年度は以下の通り開催する研修会へ委員を派遣しました。

- ① 平成26年8月28日、京都府相談支援初任者研修「自立支援協議会について」実践報告において、「乙訓圏域障がい者自立支援協議会における『入院時コミュニケーション支援』にかかる取り組みについて」報告。
- ② 平成27年2月25日、丹後圏域障害者自立支援協議会医療的ケア部会シンポジウムにおいて、「乙訓圏域障がい者自立支援協議会『医療的ケア』委員会の取り組みについて」報告。
- ③ 平成27年3月13日、独立行政法人国立病院機構南京都病院「重症心身障害児者の地域生活モデル事業に係るネットワーク会議」において、「乙訓圏域における医療的ケア委員会の取り組みについて」報告。

### (4) 入院時コミュニケーション支援制度について

昨年度、乙訓2市1町でそれぞれ制定された「入院時コミュニケーション支援制度」について、その利用がスムーズに行われるよう、当委員会としての協力を検討するため、各市町が利用状況の報告を行いました。利用状況は次のとおりです。

	向日市	長岡京市	大山崎町
支給決定件数	2件	6件	1件
利用件数	実件数 2件 延べ件数 3件	実件数 3件 延べ件数 4件	実件数 1件 延べ件数 1件
利用延べ日数（時間数）	延べ日数 35日 延べ利用時間 89.5時間	延べ日数 36日 延べ利用時間 118.5時間	延べ日数 7日 延べ利用時間 25.5時間

(注) 長岡京市は、事前申請を希望された方の支給決定を含んでいます。

## 5. 次年度の課題と方針

### (1) 「医療的ケア」が必要な人の短期入所について

「医療的ケア」が必要な人の短期入所の利用を「福祉型短期入所事業所」で進めていくためにどのような条件整備が必要か、という点について、中間報告でまとめた「視点」も踏まえ、より具体的な検討を進めます。

### (2) 喀痰吸引等研修プロジェクトについて

介護職員等による喀痰吸引等の研修受講状況及び実施状況について、あらためて把握するために、平成25年度に行った「障がい福祉サービス等事業所における喀痰吸引等の実施の現状・課題・研修ニーズに関する調査」に、今年度の新たな項目等を加え再調査することを話し合いましたが、次年度の課題として申し送ります。第3号研修の実施は登録研修機にその役割を担っていただくことを前提として進めていくこととなりますが、乙訓圏域で今後も喀痰吸引等を必要とされる人への支援体制を確保していくために、研修情報の周知を図り、継続的に喀痰吸引等研修が安定して実施できるよう、プロジェクトとしての役割を明確にしながらバックアップしていくことが引き続き必要です。

### (3) 入院時コミュニケーション支援事業について

平成26年度中の各市町からの報告によると、病院の看護師に制度の理解をしてもらうのに時間を要した等の細かな点はいくつかありますが、特段大きな問題はなく推移しています。次年度についても一年間引き続き利用状況の把握に努め、特に対応を考えなければならないような問題や課題が無ければ、「医療的ケア」委員会の動きとしてはいったん終結とします。